連結貸借対照表

(令和 5年 3月31日現在)

(単位:円)					
科目	金額	科目	金額		
【資産の部】		【負債の部】			
固定資産	166, 312, 499, 879	固定負債	61, 721, 700, 828		
有形固定資産	154, 875, 489, 327	地方債等	33, 631, 359, 312		
事業用資産	75, 569, 737, 719	長期未払金	_		
土地	42, 460, 475, 544	退職手当引当金	3, 276, 514, 257		
立木竹		損失補償等引当金	-		
建物	50, 615, 024, 266	その他	24, 813, 827, 259		
建物減価償却累計額	\triangle 23, 981, 226, 951	流動負債	5, 358, 641, 376		
工作物	11, 214, 050, 017	1年内償還予定地方債等	4, 077, 841, 861		
工作物減価償却累計額	\triangle 5, 214, 922, 095	未払金	657, 407, 499		
船舶		未払費用	29, 791, 859		
船舶減価償却累計額	_	前受金	3, 728, 713		
浮標等	_	前受収益	5, 120, 115		
浮標等減価償却累計額	_	賞与等引当金	241, 673, 622		
		サギガヨ缶 預り金			
航空機	_		270, 632, 244		
航空機減価償却累計額	700	その他	77, 565, 578		
その他	788	負債合計	67, 080, 342, 204		
その他減価償却累計額	- 450 000 155	【純資産の部】	150 445 101 05:		
建設仮勘定	476, 336, 150	固定資産等形成分	172, 441, 131, 651		
インフラ資産	78, 848, 657, 289	余剰分(不足分)	\triangle 60, 957, 656, 895		
土地	18, 775, 955, 170	他団体出資等分	-		
建物	3, 033, 503, 668				
建物減価償却累計額	\triangle 996, 900, 349				
工作物	107, 622, 229, 428				
工作物減価償却累計額	\triangle 53, 702, 176, 445				
その他	4, 032, 047, 773				
その他減価償却累計額	\triangle 1, 939, 572, 377				
建設仮勘定	2, 023, 570, 421				
物品	1, 661, 358, 981				
物品減価償却累計額	\triangle 1, 204, 264, 662				
無形固定資産	1, 126, 178, 242				
ソフトウェア	635, 170				
その他	1, 125, 543, 072				
投資その他の資産	10, 310, 832, 310				
投資及び出資金	492, 838, 000				
有価証券	312, 000, 000				
出資金	180, 838, 000				
その他	100,000,000				
投資損失引当金	_				
長期延滞債権	277, 430, 516				
長期貸付金	401, 767, 821				
基金	8, 657, 474, 134				
減債基金	0,001,414,104				
一個	8, 657, 474, 134				
その他	517, 105, 330				
徴収不能引当金	\triangle 35, 783, 491				
流動資産	12, 251, 317, 081				
現金預金	5, 721, 793, 274				
未収金	407, 613, 349				
短期貸付金	500, 000, 000				
基金	5, 628, 631, 772				
財政調整基金	3, 780, 583, 122				
減債基金	1, 848, 048, 650				
棚卸資産	7, 585, 813				
その他	26, 729, 419				
徴収不能引当金	\triangle 41, 036, 546				
繰延資産	_	純資産合計	111, 483, 474, 756		
資産合計	178, 563, 816, 960	負債及び純資産合計	178, 563, 816, 960		
·					

【様式第2号】

連結行政コスト計算書

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

科目	(単位:円) 金額
経常費用	41, 663, 656, 561
業務費用	20, 029, 107, 069
人件費	4, 917, 757, 234
職員給与費	3, 765, 791, 736
賞与等引当金繰入額	238, 942, 287
退職手当引当金繰入額	59, 374, 850
その他	853, 648, 361
物件費等	14, 216, 114, 291
物件費	9, 286, 245, 261
維持補修費	279, 887, 148
減価償却費	4, 646, 683, 638
その他	3, 298, 244
その他の業務費用	895, 235, 544
支払利息	199, 290, 158
徴収不能引当金繰入額	29, 481, 272
その他	666, 464, 114
移転費用	21, 634, 549, 492
補助金等	17, 868, 968, 435
社会保障給付	3, 748, 020, 390
他会計への繰出金	-
その他	17, 560, 667
経常収益	4, 601, 805, 470
使用料及び手数料	1, 646, 167, 353
その他	2, 955, 638, 117
純経常行政コスト	37, 061, 851, 091
臨時損失	27, 025, 296
災害復旧事業費	-
資産除売却損	23, 578, 016
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	3, 447, 280
臨時利益	1, 199, 815
資産売却益	1, 199, 815
その他	-
純行政コスト	37, 087, 676, 572

連結純資産変動計算書

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分	
前年度末純資産残高	109, 136, 891, 766	173, 092, 155, 079	△ 63, 955, 263, 313	0	
純行政コスト (△)	△ 37, 087, 676, 572		△ 37, 087, 676, 572	0	
財源	39, 472, 542, 904		39, 472, 542, 904	0	
税収等	24, 716, 370, 041		24, 716, 370, 041	0	
国県等補助金	14, 756, 172, 863		14, 756, 172, 863	0	
本年度差額	2, 384, 866, 332		2, 384, 866, 332	0	
固定資産等の変動(内部変動)		△ 578, 078, 096	578, 078, 096		
有形固定資産等の増加		4, 022, 916, 205	\triangle 4, 022, 916, 205		
有形固定資産等の減少		\triangle 4, 668, 423, 674	4, 668, 423, 674		
貸付金・基金等の増加		2, 542, 612, 966	\triangle 2, 542, 612, 966		
貸付金・基金等の減少		\triangle 2, 475, 183, 593	2, 475, 183, 593		
資産評価差額	-	-			
無償所管換等	\triangle 33, 225, 431	\triangle 33, 225, 431			
他団体出資等分の増加	-			-	
他団体出資等分の減少	-			-	
比例連結割合変更に伴う差額	△ 5,057,914	△ 39, 719, 902	34, 661, 988		
その他	3	1	2		
本年度純資産変動額	2, 346, 582, 990	△ 651, 023, 428	2, 997, 606, 418	0	
本年度末純資産残高	111, 483, 474, 756	172, 441, 131, 651	△ 60, 957, 656, 895	0	

連結資金収支計算書

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

科目	(単位:円 <i>)</i> 金額
N 1	並似
【業務活動収支】	07 000 000 700
業務支出	37, 233, 233, 788
業務費用支出	15, 592, 602, 949
人件費支出	5, 269, 106, 730
物件費等支出	9, 472, 742, 997
支払利息支出	199, 291, 129
その他の支出	651, 462, 093
移転費用支出	21, 640, 630, 839
補助金等支出	17, 874, 990, 395
社会保障給付支出	3, 748, 078, 690
他会計への繰出支出	_
その他の支出	17, 561, 754
業務収入	38, 435, 210, 710
税収等収入	24, 046, 369, 833
国県等補助金収入	9, 636, 242, 220
世界科及び手数料収入	1, 849, 914, 856
その他の収入	2, 902, 683, 801
臨時支出	3, 447, 280
災害復旧事業費支出	_
その他の支出	3, 447, 280
臨時収入	4, 909, 655, 100
業務活動収支	6, 108, 184, 742
【投資活動収支】	
投資活動支出	6, 444, 078, 389
公共施設等整備費支出	4, 066, 548, 204
基金積立金支出	1, 858, 692, 375
投資及び出資金支出	97, 810
貸付金支出	518, 740, 000
その他の支出	_
投資活動収入	2, 834, 714, 353
国県等補助金収入	346, 981, 847
基金取崩収入	1, 823, 504, 269
貸付金元金回収収入	538, 016, 000
資産売却収入	
	7, 187, 626
その他の収入	119, 024, 611
投資活動収支	△ 3, 609, 364, 036
【財務活動収支】	4 450 540 000
財務活動支出	4, 153, 519, 669
地方債等償還支出	4, 153, 519, 669
その他の支出	-
財務活動収入	1, 639, 748, 400
地方債等発行収入	1, 639, 748, 400
その他の収入	
財務活動収支	\triangle 2, 513, 771, 269
本年度資金収支額	\triangle 14, 950, 563
前年度末資金残高	5, 460, 851, 259
比例連結割合変更に伴う差額	6, 525, 421
本年度末資金残高	5, 452, 426, 117
	,, - - ~, 1
前年度末歳計外現金残高	226, 312, 973
本年度歳計外現金増減額	43, 054, 184
本年度末歳計外現金残高	269, 367, 157
本年度末現金預金残高	5, 721, 793, 274
个 I IX 小九亚 I R 亚 / X III	0, 141, 130, 414

注記

1 重要な会計方針

- (1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法
 - ① 有形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地においては備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・・ 取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・・・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・・・・・・・・再調達原価

なお、一部の連結対象団体(地方独立行政法人、一般財団法人、地方三公社)においては、原則、取得原価としています。

- (2) 有価証券等の評価基準及び評価方法
 - ① 満期保有目的有価証券・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 償却原価法 (定額法) ただし、一部の連結対象団体においては、利息法によっています。
 - ② 満期保有目的以外の有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・・・・・・・会計年度末における市場価格

(売却原価は移動平均法により算定。)

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・取得原価(又は償却原価法(定額法))

③ 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・・・・・・・・・・会計年度末における市場価格

(売却原価は移動平均法により算定)

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・・・・出資金額

- (3) 有形固定資産等の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産(リース資産を除きます。)・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 15年~50年

工作物 10年~50年

物品 2年~15年

ただし、一部の連結対象団体については定率法によっています。

- ② 無形固定資産(リース資産を除きます。)・・・・・・・・・・ 定額法(ソフトウェアについては、庁内における見込利用期間(5年)に基づく定額法によっています。)
- ③ リース資産
 - ア 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

イ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

・・・・・・・リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体(会計)に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により(又は個別に改修可能性を検討し)、徴収不能見込額を計上しています。

長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により(又は個別に改修可能性を検討し)、徴収不能見込額を計上しています。

長期貸付金については、過去5年間の平均不納欠損率により(又は個別に改修可能性を検討し)、徴収不能見 込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

④ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

⑤ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当、勤勉手当等及びそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 採用した消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体(会計)については、税抜方式によっています。

(7) 決算日が一般会計等と異なる場合に特に行った処理の概要

決算日と連結決算日の差異が3か月を超えない連結対象団体については当該連結対象団体の決算を基礎として連結手続を行っていますが、決算日と連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っています。

(8) その他連結財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価額が50万円 (美術品は300万円) 以上の場合に、資産として計上しています。

ソフトウェアについても物品の取扱いに準じています。

② 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、金額が概ね50万円未満であるときは、修繕費として処理しています。

- 追加情報(財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項)
 - (1) 連結対象団体について

連結会計財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計

石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計

仁良川地区土地区画整理事業特別会計

国民健康保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

介護保険特別会計

水道事業会計

下水道事業会計

栃木県市町村総合事務組合(一般会計、特別会計、市町村消防団員等公務災害補償等事業、非常勤職員公務災害補 償事業):比例連結

·一般会計: 2.56% ・特別会計:4.00%

· 市町村消防団員等公務災害補償等事業: 2.95%

· 非常勤職員公務災害補償事業: 4.55%

栃木県後期高齢者医療広域連合:比例連結(2.73%)

石橋地区消防組合:比例連結(45.37%)

小山広域保健衛生組合:比例連結(18.35%)

下野市農業公社:全部連結 下野市観光協会:全部連結 グリムの里いしばし:全部連結 道の駅しもつけ:全部連結

下野市シルバー人材センター:全部連結

下野市社会福祉協議会:全部連結

- ① 地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。
- ② 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。 ③ 地方独立行政法人は、すべて全部連結の対象としています。 ④ 地方三公社は、すべて全部連結の対象としています。

- ⑤ 第三セクター等は、出資割合等が50%を超える団体(出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主 導的な立場を確保している団体を含みます。) は、全部連結の対象としています。また、いずれの地方公共団体 にとっても全部連結の対象とならない第三セクター等については、出資割合等や活動実績等に応じて、比例連結 の対象としています。ただし、出資割合が25%未満であって、損失補償を付している等の重要性がない場合は、 比例連結の対象としていない場合があります。
- (2) 出納整理期間について

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている団体(会計)においては、出納整理期間におけ る現金の受払い等を終了した後の計数をもって

会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体(会計)と出納整理期間を設けている団体(会計)との間で、出納整理 期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) その他連結財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

平成29年度に発覚した公金搾取事件による回収金が令和元年度に確定したため、長期延滞債権として35,618,405 円計上しました。よって貸借対照表の長期延滞債権及び未収金の合計と決算書上の収入未済額について差額が発生 しています。

連結附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

U 有 / 的 回 / 但 人 更 性 / 的 i	ľЩ						(単位・口)
区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A) + (B) - (C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D) - (E) (G)
事業用資産	103, 593, 017, 972	3, 365, 197, 675	2, 181, 414, 270	104, 776, 801, 377	29, 196, 149, 046	1, 577, 127, 677	75, 580, 652, 331
土地	42, 386, 999, 566	79, 375, 978	5, 900, 000	42, 460, 475, 544	0	0	42, 460, 475, 544
立木竹	0	0	0	0	0	0	(
建物	49, 314, 100, 520	1, 573, 933, 408	273, 009, 662	50, 615, 024, 266	23, 981, 226, 951	1, 274, 289, 435	26, 633, 797, 315
工作物	10, 877, 155, 275	401, 268, 564	64, 373, 822	11, 214, 050, 017	5, 214, 922, 095	302, 838, 242	5, 999, 127, 922
船舶	0	0	0	0	0	0	(
浮標等	0	0	0	0	0	0	(
航空機	0	0	0	0	0	0	C
その他	765	23	0	788	0	0	788
建設仮勘定	1, 014, 761, 846	1, 310, 619, 702	1, 838, 130, 786	487, 250, 762	0	0	487, 250, 762
インフラ資産	133, 175, 497, 609	3, 521, 391, 881	1, 220, 497, 642	135, 476, 391, 848	56, 638, 649, 171	2, 879, 395, 222	78, 837, 742, 677
土地	18, 751, 957, 066	23, 998, 104	0	18, 775, 955, 170	0	0	18, 775, 955, 170
建物	3, 033, 503, 668	0	0	3, 033, 503, 668	996, 900, 349	103, 486, 862	2, 036, 603, 319
工作物	105, 638, 107, 878	2, 087, 652, 846	103, 531, 296	107, 622, 229, 428	53, 702, 176, 445	2, 648, 840, 520	53, 920, 052, 983
その他	3, 910, 013, 069	122, 034, 704	0	4, 032, 047, 773	1, 939, 572, 377	101, 978, 435	2, 092, 475, 396
建設仮勘定	1, 841, 915, 928	1, 287, 706, 227	1, 116, 966, 346	2, 012, 655, 809	0	0	2, 012, 655, 809
物品	1, 635, 396, 085	46, 610, 175	20, 647, 279	1, 661, 358, 981	1, 204, 264, 662	25, 089, 405	457, 094, 319
合計	238, 403, 911, 666	6, 933, 199, 731	3, 422, 559, 191	241, 914, 552, 206	87, 039, 062, 879	4, 456, 522, 899	154, 875, 489, 327